

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

リンパ腫診療における細胞診の有用性に関する検討		
1. 研究の対象および研究対象期間 2014年1月1日から2023年12月31日までに昭和大学病院 臨床病理診断科で診断されたリンパ腫患者さん		
2. 研究目的・方法 リンパ腫の診断には、組織生検による病理診断が重要です。一方でリンパ節の病気にはリンパ節穿刺細胞診という、病理診断の一つの方法である検査法があります。リンパ節穿刺吸引細胞診は、癌のリンパ節転移の診断に有用で、癌患者さんの診療では行われていますが、リンパ腫患者さんの診断に有用かどうかは明らかではありません。しかしリンパ腫以外の病気を疑ってリンパ節穿刺吸引細胞診が実施された患者さんで、最終的に病理診断でリンパ腫と診断される患者さんがいます。このような患者さんの診療録を調査し、リンパ腫診療で細胞診が有用かどうかを調べます。		
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 病理診断報告書、細胞診報告書、病理組織標本、細胞診標本、診療録の情報		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。		
6. 研究組織		
研究責任者	昭和大学医学部臨床病理診断学	塩沢英輔
研究分担者	昭和大学病院 臨床病理診断科	矢持淑子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部 臨床病理診断学 氏名：塩沢 英輔

住所：品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8122